

第68回 男鹿駅伝競走大会イベントレポート (第3回:3区)



おが潮風街道 (写真提供:男鹿なび)

【第3区】

レースは前半2区間を終え、トップ学生チームに肉迫して3区へ。

新コースの3区は、昨年までのコースでは5区にあたり、従来のコースと距離に変更が無い3区間のうちの一区間で、2区に続いて「おが潮風街道」沿いに前半はアップダウンを繰り返し、中盤で一気に男鹿水族館 GAO へと駆け下っていく。

そこからは次の中継所まで見渡せる戸賀湾の海岸線を最後の力を振り絞って走ることになるが、男鹿水族館までの山下りで完全に足に疲労が蓄積している状態のため、下り切った後の最後の3km弱が平坦であるにもかかわらず本当にキツく、身体が思うように動かないことから、最後は気合と根性で乗り切るほかない。

おが潮風街道は、半島の西海岸を約25kmにわたり続く海岸道路で、晴れていれば高台から時折眼下に映る素晴らしい海の景色が楽しめる。

半島を一周する男鹿駅伝は、山間部と海岸部の風光明媚な風景の中を7人がタスキをつなぐ点が最大の魅力だ。

選手達も街中を走るのとは違って美しい景色の中を走っていると気分よく爽快に走ることが出来るし、応援の方々も選手通過までの一時、景色を楽しむことが出来る。

ShinDengen



3区：7.5km（加茂（桜島駐車場）～戸賀出張所）

今年、重要な前半最後となる3区を任されたのは千葉県出身、入社3年目の渡辺である。現在は、工場管理部施設管理課に所属し、空調・衛生・高圧ガス・上水・排水処理設備の点検や維持管理、設備の新設・改修・撤去の工事計画・施工管理業務を担当している。

レースは、2区の頑張りによって先頭に12秒差まで迫り、全体トップの期待が出てきた。

今年のレポートは、この後、走った選手の直筆感想からレースのリアルな実況をお届けする！！

<< 渡辺選手レポート >>

レース1週間前辺りまで練習で全く思うように走れていなかったため、常にレース当日しっかり走れるかどうか不安に過ごしていた。

しかし、なるようにしかならないと思っていたので、焦らず普段通りに調整練習をしたら自然と状態も上向き、無事に良い状態で当日を迎えることが出来た。

当日は天気が曇っていて、気温もちょうどいいぐらいで走るには絶好のコンディションだった。ウォーミングアップをし、状態も良かったためレースの目標は区間賞を狙っていた。

簡単にコースを説明すると、序盤はひたすらに坂を上り、中盤は上った分一気に駆け下り、終盤は3kmの平坦が続くコースである。

襷を受け取る時、総合2位で前を走る東洋大学との差が12秒と最高の位置で持ってきてくれたのでここでトップに立とうと思いつつスタートした。

走りの戦略としては、序盤の上りを前との差を保ちつつ抑えて走り、中盤の下り坂を8割ぐらいの力で走って先頭に追いつき、終盤の平坦はペースを維持しつつラスト1kmになったら、スパートをかけて後続を振り切ろうと考えていた。

序盤は、あまり得意ではない上りだったのでリラックスしつつ前を追ったが、3回あるうちの1回目の上りで思いのほか足を使ってしまい、続く2回の上りが本当にきつくて、試走の時は絶景に見えた景色を楽しむこともなく、ただただ路面だけを見ながらひたすら上った。



序盤の渡辺の走り

中盤に差し掛かり、今まで上ってきた分を一気に駆け下りるのはとても気持ち良く、走る前は、海岸線から見える景色もさぞ絶景なんだろうなと思っていた。

しかし、現実には前との差が開いてしまったので、差を縮めたいと思う気持ちでいっぱい、いつの間にか下り終わっていた。



男鹿水族館 G A O (写真提供:男鹿なび)



水族館脇の坂を必死に下る渡辺



戸賀湾（写真提供:男鹿なび）

いよいよ終盤になり、残り約 3km 弱の平坦に差し掛かった。

海岸線の先を見ると中継所が見え、終わりが見える分だけ地味に長く感じ、体も限界に近い時に前田監督や応援者から熱い檄が飛んできたお蔭で最後まで追い込みをかけることが出来た。

レースを振り返ると、個人の感想としては区間順位が 3 番だったので率直に悔しい。

タイム的に決して悪かったわけではなかったので、力はずついてきているなど感じたレースだった。男鹿駅伝を走って思うのは、毎回伴走車からの熱い檄のおかげで限界近くまで追い込むことが出来るので凄く助かっている。

チームとしても、例年にならぬ総合優勝を狙えるレースが出来たことは成長を感じ、勢いをつけることが出来たと思う。

今後の目標については、夏に走り込み及び身体作りを行い、秋シーズンのトラックレースでは自己ベストを出し、駅伝でも区間上位の走りが出来るよう頑張っていく。

最後に、日頃より応援頂き有難うございます。

職場の方々をはじめ、多くの方々からのサポートや理解あってこそ今があると思いますので、今後とも応援して頂けるよう日々精進していきたいと思っております。

11月に行われる東日本実業団駅伝でも最高のパフォーマンスが発揮出来るよう頑張りますので、引き続き陸上部へのご指導ご声援を宜しくお願い致します。



厳しい表情で終盤を走る渡辺

【3区成績】一般の部

距離 : 7.5km

順位 : 3/41位 (大学を含む全体順位 : 5/52位)

タイム : 23分19秒 (目標タイム : 23分20秒)

※ 渡辺選手のレポートいかがだったでしょうか。

常に自然体を心掛ける彼の素朴で真面目な一面だけでなく、秘めた熱い想いが感じられるレポートだったと思いました。

また、伴走車からの声掛けや応援がどれだけ選手の励みになるかも聞くことが出来ました。記録的にエースの実力を秘めた渡辺選手とチームの益々の活躍をご期待下さい！！

以 上

※ イベントレポート (第4回 : 4区) へ続く